国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2

ガラス使用

大唐西京千福寺多
寶佛塔感應碑文
南陽岑勛撰

朝議郎判尚書武部
員外郎琅邪顏真卿
書朝散大夫撿校尚
書都官郎中東海徐

明治
45. 7. 12
購求

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』 請求記号 寄別3-5-2-2
ガラス使用

浩題額

粤妙法蓮華諸[illegible]
祕藏也多寶佛塔證
經之踴現也發明資

乎十力弘建在於四
依有禪師法号楚金
姓程廣平人也祖父
並信著釋門慶歸[illegible]

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

胤母高氏久而無姙
夜夢諸佛覺而有娠
是生龍象之徵無取
熊羆之兆誕弥厥日

炳然殊相岐嶷絶於
葷茹髫齔不為童遊
道樹萌牙聳豫章之
楨幹禪池畎澮涵巨

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

海之一波濤年甫七歲
居然獃俗自揩出家
禮藏探經法華在手
宿命潛悟如識金環
揔持不遺若注瓶水
九歲落髮住西京薦
興寺從僧錄也進具
之年昇座講法頒收

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

珎藏異窮子之疾走
直詣寶山無化城而
可息亦後因靜夜持
誦至多寶塔品身心

泊然如入禪定忽見
寶塔宛在目前釋迦
分身遍滿室界行勤
聖現業淨感深悲生

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

悟中淚下如雨遂
衣一食不出戶庭
滿六年誓建茲塔既
而許王瓘及居士趙

崇信女普意善来稽
首咸捨珎財禪師以
為輯莊嚴之因資爽
塏之地利見千福默

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

議於心時
忍禪師忽
有一水發源
注千福清
澄迄灩中

有方舟又見寶塔自
空而下久之乃滅即
今建塔處也寺内淨
人名法相先於其地

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』 請求記号 寄別3-5-2-2
ガラス使用

復見燈光遠望則明
近尋即滅竊以水流
開於法性舟泛表於
慈航塔現兆於有感

燈明示於無盡非至
德精感其孰能與於
此及禪師建言雜然
歡愜負畚荷插于橐

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

于囊登登憑憑是板
是築灑以香水隱以
金鎚我能竭誠工乃
用壯禪師每夜於築
階所懇志誦經勵精
行道衆聞天樂咸嗅
異香喜歎之音聖日
相半至天寶元載創

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

構材木肇安相輪禪
師理會佛心感通
帝夢七月十三日
勅内侍趙思侃求諸

寶坊驗以所夢入寺
見塔禮問禪師
聖夢有孚法名惟肖
其日賜錢五十萬絹

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

千匹助建修也則知
精一之行唯先天而
不違純如之心當後
佛之授記爾漢明永
平之日大化初流
我皇天寶之年寶塔
斯建同符千古昭有
烈光於時道俗景附

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

檀施山積庀徒度財
功百其倍矣至
勅中使楊順景宣
令禪師於花萼樓下

迎多寶塔額遂摠僧
事備法儀宸睠俯臨
額書下降又賜絹百
疋聖札飛毫動雲龍

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

之氣象天文挂塔駐
日月之光輝至四載
塔事將就表請慶齋
歸功帝力時僧道

部會逾萬人有五色
雲團輔塔頂衆盡瞻
覩莫不蒭悅大哉觀
佛之光利用賓于法

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

王禪師謂同學曰鵬
運滄溟非雲羅之可
頓心遊寂滅豈愛網
之能加精進法門菩

薩以自强不息本期
同行復遂宿心鑿井
見泥去水不遠鑽木
未熱得火何階凡我

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

七僧聿懷
塔下誦持
不斷經聲
為常沒身

一志晝夜
法華香煙
遍續灯以
不替自三

載每春秋
行大德四
十九人行
法華三昧
尋奉恩旨
許為恒式
前後道場

二時集同

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

所感舍利
十粒至六
利預嚴道
百八粒畫
凡三千七
載欲葬舍
場又降一
普賢變於
筆鋒上聚
得一十一
粒莫不圓
體自動塗
光瑩然禪
師無我觀
身了空求
法先剌血

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

寫法華経一部菩薩戒一卷觀普賢行経一卷乃取舍利三千粒盛以石函兼造自身石龕跪而戴之同置塔下表至敬也使夫舟遷夜壑無變度門劫筭墨塵永垂貞

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

範又奉爲
生寫妙法
千部金字
用鎮寶塔
主上及蒼
蓮華經一
部六部
又寫一千
部散施受
多具如奉
勅内侍吴
銅香鑪高
持靈應既
傳其載
懷寶賜金
一丈五尺

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

奉表陳謝手詔批云
師弘濟之願感達人
天莊嚴之心義成因
果則法施財施信所
宜先也主上握至
道之靈符受如来
法印非禪師大慧超
悟無以感於宸衷非

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

主上至聖文明無以
鑒於誠願倬彼寶塔
為章梵宮經始之功
真僧是葺克成之業

聖主斯崇尒其為狀
也則岳聳蓮披雲垂
盖偃下欻崛以踴地
上亭盈而媚空中晻

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

晻其靜深旁赫赫以
弘敞礝礦承陛琅玕
綷檻玉瑱居楹銀黃
拂戶重簷疊於畫栱

反宇環其壁璫坤靈
贔屭以負砌天祇儼
雅而翊戶或復肩挐
摯鳥肘擐脩虵冠盤

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

巨龍帽抱猛獸勃如
戰色有奭其容窮繪
事之筆精選朝英之
偈賛若乃開扃鐍窺
奥祕二尊分座疑對
鷲山千帙發題若觀
龍藏金碧炅晃環珮
葳蕤至於列三乘分

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

八部聖徒翕習佛事
森羅方寸千名盈尺
萬象大身現小廣座
能畢須弥之容歘入
芥子寶盖之狀頻覆
三千昔衡岳思大禪
師以法華三昧傳悟
天台智者尓来嶺寂

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

罕聞真要法不可以
久廢生我禪師克嗣
其業繼明二祖相望
百年夫其法華之教
也開玄關於一念照
圓鏡於十方指陰界
為妙門駈塵勞為法
侶乘沙能成佛道合

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

掌已入聖流三乘教
門摠而歸一八萬法
藏我為冣雄譬猶滿
月麗天熒光列宿山
王映海蟻垤羣峯嗟
乎三界之沉寐久矣
佛以法華為木鐸惟
我禪師超然深悟其

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

皃也岳瀆之秀氷雪之姿果膚具齒蓮目月面望之厲即之温而降伏之觀相未言

心已過半矣同行禪師抱玉飛錫襲衡台之祕躅傳止觀之精義或名高帝選或

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

行窓衆師共弘開示
之宗盡契圓常之理
門人苾蓄如巖靈悟
淨真空法濟等以
定慧為文質以戒忍
為剛柔含朴玉之光
輝等旃檀之園繞夫
發行者因圓則福

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

廣起因者相相遣則
慧深求無爲爲於有爲
通解脫於文字擧事
徵理含毫强名偈曰

佛有妙法北象蓮華
圓頓深入真淨無瑕
慧通法界福利恒沙
直至寶所俱乘大車

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

其一於戲上士發行正
勤緬想寶塔思弘勝
因圓階已就層霞初
陳乃昭帝夢福應

天人其二輪奐斯崇為
章淨域真僧草創
聖主增飾中座眈眈
飛簷翼翼荐臻靈感

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

我帝力三具念彼後
學心滯迷封昏衢未
曉中道難逢常驚夜
杌還懼真起不有禪

伯誰明大宗四具大海
吞流崇山納壤教門
稱頓慈力能廣功起
聚沙德成合掌開無

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

上其五情塵雖雜性海
無漏定養聖胎染生
迷鷇斷常起縛空色
同謝薝蔔現前餘香

何嗅其六彤彤法宇繁
我四依事該理暢[illegible]
粹金輝慧鏡無垢慈
燈照微空[illegible]歸其七

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2
ガラス使用

天寶十一載歲次壬
辰四月乙
巳朔廿二
日戊戌建
勅檢校
塔使正議大
品判官内
府丞車沖
檢校僧義方
河南史華

右魯公多寶佛塔沈深和
潤結構穩成便于初學當
庠鄉塾家置二本撫揖之
廣真贋互淆此本魯國
東方先生定為明初揖
本用筆圓而帶嫩可貴
也

嘉慶丙子七月地山應讓跋

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』　請求記号　寄別3-5-2-2

ガラス使用

75

国立国会図書館　タイトル『大唐西京千福寺多寶佛塔感應碑文』 請求記号 寄別3-5-2-2

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『大唐西京干福寺多寶佛塔感應碑文』請求記号　寄別3-5-2-2

ガラス使用